

VI

生涯學習

# 1 就学前教育と保育の充実

## 現状と課題

幼児期の教育・保育と学校教育との接続が円滑に行えるよう各部署が連携し、切れ目のない取り組みを行っています。

さらに、町立保育園では、年長児を対象に英語とふれ合うための「英語あそび」を導入するなど、小学校へ入学するための準備としての取り組みを推進しています。

就学前教育は、子どもが生活するすべての場において行われる教育であり、生涯における人間形成の基礎を培う重要なものであることから、すべての子どもが十分な教育を受けられる環境を整備するとともに、保護者負担の軽減を図る必要があります。

また、保護者の就労により、保育園、児童館、学童保育の需要が高まっていることから、既存のサービスや制度についての周知を図り、認知度を向上させるとともに、より利用しやすいものとなるよう充実させていく必要があります。

## 施策の基本方針

就学前教育と学校教育との接続が緩やかに円滑に行われるよう、認定こども園・幼稚園及び保育園から小学校、児童館への連携を促進するとともに、就学前の時期における質の高い教育・保育を提供するために、関係部署が一体となった取り組みを推進していきます。

また、すべての子どもに就学前教育を保障するため、子どもを就園させる家庭の経済的負担の軽減に取り組んでいきます。

## 主な取り組み内容

- 保育サービスの充実
- 児童館・学童保育の充実
- 保護者が安心して働ける保育環境の整備
- 認定こども園、幼稚園、保育園、小学校による情報交換の推進
- 認定こども園、幼稚園、保育園への補助金などの交付
- 就園奨励費補助金の交付
- 施設型給付費の支給

## K G I（重要目標達成指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
就学前教育と保育について満足している人の割合	34.8%	35.9%

## K P I（重要業績評価指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
学童保育登録児童数	545人	600人
学習サポートの利用者数（累計）	42,477人	44,660人
幼稚園・保育園・小学校情報交換会議の回数	2回	5回

## 2 教育環境の充実

### 現状と課題

グローバル化・高度情報化など変化が激しい社会において、子どもたちに対しては、豊かな人間性を育み、確かな学力を身に付けさせることや、たくましく生きるための体力づくりが求められています。

その実現に向けて、教職員研修の実施や補助教職員の配置などによって指導力の向上を図るとともに、不登校の子どもたちへの支援のための適応指導教室・スマイル教室の開設・運営や、PTA組織などを活用した学校と家庭との情報共有、ボランティアによる放課後パトロールなどにより、学校・家庭・地域が連携しながら教育環境の充実に取り組んでいます。

今後も多様化・複雑化する教育課題を解決していくためには、教職員の指導力をさらに向上させるとともに、学校・家庭・地域の連携をこれまで以上に強化していく必要があります。

また、子どもたちが学び、生活する場である学校施設は、避難所や地域活動の拠点としての役割も担う重要な施設です。老朽化している施設については、安全面や施設維持の観点から、長寿命化に向けた改修などの適切な維持管理に努めていく必要があります。

### 施策の基本方針

教職員研修の更なる充実により教職員の指導力向上を図り、学力向上に取り組みながら、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たせる体制を築き、子どもたちへの支援を行っていきます。

多様化・複雑化する教育課題については、学校・家庭・地域で連携し、迅速かつ丁寧に課題解決を図ります。特に、いじめや不登校などについては、未然防止教育に重点を置きつつ、教育研究所における教育相談・適応指導教室やスマイル教室を有効活用しながら、子どもたちを支援していきます。

また、外国籍の子どもたちに向けた日本語学級の充実を図り、日本語習得、学校生活への適応、学力向上のための取り組みを推進していきます。

老朽化が進む学校施設については、財政負担の平準化を図りながら大規模改修もしくは部分改修を行い、子どもたちのより良い教育環境の維持・向上を図っていきます。

また、ICT（情報通信技術）教育環境の充実に取り組み、学力向上につなげていきます。

### 主な取り組み内容

- 学力向上に向け、授業改善実践校指定、学校訪問指導、全体研修会などを通じた教職員研修の実施
- 不登校対策として、適応指導教室・スマイル教室の周知・充実
- 教職員及び児童会や生徒会など子どもたちを中心としたいじめ防止活動の充実
- 日本語学級などを中心とした外国籍の子どもたちへの支援
- 学校施設・設備の整備
- ICT環境の充実

### K G I（重要目標達成指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
教育環境について満足している人の割合	35.5%	37.0%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
全国学力・学習状況調査結果における全国と本町の平均正答率の差 <div style="text-align: right; padding-right: 20px;">                     : 小学 6 年生                      : 中学 3 年生                 </div>	-3.5% -1.0%	+0.5% +3.0%
教職員対象の研修会実施回数	6 回	10 回
小中学校の校内 LAN 整備率（累計）	29%	100%

## 3 生涯学習の推進

### 現状と課題

生涯学習の推進については、町民の学習意欲の向上に向けた啓発を行うとともに、広い分野における各種講座などの開催により学習機会の拡大に取り組む中で、座学的な講演会から参加型の学習会などに変えつつ、学習効果は高まってきていると考えます。

今後も町民が自ら進んで学習活動を行おうとするための意識啓発に努めていくとともに、学習意欲に応えるための機会を提供し、それぞれが学んだ知識や技能を生かしながら、自主的な学習の場を広げていけるよう支援していく必要があります。

### 施策の基本方針

町民の学習意欲に応えていくために、多くの人が参加できるよう、各ライフステージのニーズに合わせた幅広い分野についての講座や学習会などを開催していくとともに、主体的な学習活動の継続を支えられるような活動支援や情報提供を行っていきます。さらに、それぞれが学んだ知識や技能を生かし、自らが指導者となって知識や技能を地域活動で生かせる取り組みを行っていきます。

また、学習の継続を支えるために、公民館はグループ・サークル活動や地域活動の促進を図り、図書館は、資料の充実や読書活動の推進を重視しつつ、利便性や快適性に配慮した運営に努めていきます。

### 主な取り組み内容

- 各ライフステージの課題に合わせた講座の開催
- 学習意欲に応える幅広い内容の講座の開催
- 学習活動や地域活動への支援
- 各種団体・サークル及び地域活動の育成・支援を重視した公民館運営
- 図書資料の充実や読書活動の推進を重視した図書館運営

### K G I（重要目標達成指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
生涯学習の推進について満足している人の割合	30.7%	31.6%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
各種生涯学習講座の参加率	85.9%	90.0%
公民館及び公民館南別館の利用件数	5,627件	5,980件
図書館特設コーナーの設置回数	65回	70回

## 4 青少年育成の推進

### 現状と課題

青少年の健全な育成への取り組みとして、家庭や学校、地域、関係機関などが相互に連携しながら青少年健全育成推進運動を推進しているほか、青少年が多様な体験や人との出会いができる機会づくりとして、小学生を対象とした「放課後子ども教室」や、中・高校生を対象とした「青少年指導者養成講座」などを開催しています。また、青少年が安全・安心に過ごせるよう、トラブル・犯罪に巻き込まれないための啓発活動や各種団体などと連携したパトロール活動を行っています。

少子化や核家族化、携帯電話の普及などにより、青少年の基本的な生活習慣の乱れや実社会での対人関係の希薄化が進み、コミュニケーション能力の低下や社会的自立の遅れなどの問題が生じています。

青少年が安全で健やかに成長するためには、様々な体験活動や交流活動などを推進するとともに、場所を問わずインターネットを利用できる環境にある中で、有害情報や不正アクセスなどによる被害を防ぐことが必要です。

### 施策の基本方針

青少年を取り巻く環境の変化に対応するため、家庭、学校、地域、その他関係機関・団体などとの情報共有と連携を図り、パトロール活動や青少年の体験活動、様々な世代との交流活動など青少年が安全で健やかに成長できるような取り組みを行っています。

また、インターネットの適正利用については、青少年が加害者にも被害者にもならないよう、時代に即した正しい利用方法の更なる周知啓発を行っています。

### 主な取り組み内容

- 各種機関・団体との青少年に対する情報共有や連携の充実
- 青少年の様々な世代との交流や体験活動の充実
- インターネットの適正利用についての周知啓発

### K G I（重要目標達成指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
青少年育成の推進について満足している人の割合	25.6%	28.2%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
青少年健全育成講演会への参加者数	117人	130人
放課後子ども教室の実施箇所数	1か所	4か所

## 5 スポーツ・芸術文化の振興

### 現状と課題

地域を主体とした各種スポーツ団体などの活動が活発に行われている中、町民の健康増進やスポーツをとおした地域の交流を図るため、町民体育祭をはじめ、スポーツ・レクリエーション祭などの各種のスポーツイベントを開催しています。「町民皆スポーツ」の実現のため、新たなスポーツなどの導入も図りながら、さらに多くの人々が気軽に参加できる事業を考えていく必要があります。

芸術文化に関しては、公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団と連携しながら、数々の事業を展開するとともに、無形文化財の保護や、町の歴史や文化の再発見と町民の健康増進を目的としたウォーキング事業を開催しています。

今後も、町民の芸術や文化に対する関心を高め、町民のニーズに合わせた事業を展開するとともに、芸術文化団体などに対する支援を行い、その振興・活性化を図っていく必要があります。

また、各種団体の活動の拠点となる施設については、利用者のニーズに即した運営が求められています。

### 施策の基本方針

より多くの人々が参加しやすいスポーツイベントなどの開催に向けて、新種目の導入など、継続的な改善を行うとともに、その運営においても各種スポーツ関係団体などと連携し、スポーツの振興を図っていきます。

また、芸術文化の振興においては、新たな事業の調査研究と併せて、芸術文化団体の支援、活動機会の場の提供などを行っていきます。

さらに、国際的なスポーツイベントの開催を機に、スポーツや芸術文化の振興、またその活動への意欲向上につながるような事業の取り組みを考えていきます。

社会体育施設や文化むらについては、利用者の利便性を考慮しつつ、引き続き指定管理者制度を活用し、効率的・効果的な施設運営に努めます。

### 主な取り組み内容

- 新しいスポーツに関する調査研究
- 特色ある芸術・文化イベントの検討
- 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団との連携
- 施設の安全性、利便性の確保
- 指定管理者制度の活用



## KGI（重要目標達成指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
スポーツ活動をしやすい環境の整備について満足している人の割合	39.4%	40.6%
芸術文化の振興について満足している人の割合	40.8%	42.0%

## KPI（重要業績評価指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
スポーツ大会やスポーツレクリエーションイベントへの参加者数	3,242人	3,500人
文化むら施設利用の稼働率	65.2%	66.0%
芸術文化事業への参加者アンケートの満足度	—	80.0%

## 6 文化財の保存と活用

### 現状と課題

町内にある建造物や史跡のほか、地域の伝統芸能などについて、歴史上または芸術上重要なものは町の文化財として指定し、保存に努めるとともに、町ホームページに掲載して広く周知するなど、歴史文化に対する町民の関心を高めていくために活用しています。

また、町内に所在する数多くの遺跡や古墳から出土した土器や石器、埴輪などの埋蔵文化財については、文化むら埋蔵文化財展示室に展示公開し、埋蔵文化財の保護と周知を行っています。数多くある出土資料のうち未整理資料に関しては、整理作業を実施し、記録保存を行った後、貴重な町の文化財として、展示会などの開催をとおして周知に努めています。

今後も、指定文化財の保存や伝統芸能の伝承への支援を行うとともに、埋蔵文化財については、記録保存をとおして後生に引き継ぎ、町民の文化財保護意識の向上を図っていく必要があります。

### 施策の基本方針

無形文化財及び伝統芸能については、保持者またその団体が行う活動に対して支援を行うとともに、町民に広く周知していくことで、文化財に対する関心を高めていきます。

また、埋蔵文化財については、町内の遺跡から出土した資料の整理をとおして、その保存や活用を図るとともに、報告書の作成などの記録保存を行い、町民の埋蔵文化財保護に対する意識の向上を図っていきます。

### 主な取り組み内容

- 指定文化財の保存管理及び保持団体などへの支援
- 無形文化財及び伝統芸能などの活動・公開の機会の提供
- 埋蔵文化財の記録保存と展示公開

### K G I（重要目標達成指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
文化財の保存と活用について満足している人の割合	28.0%	28.8%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017年度 基準値	2021年度 目標値
町の歴史や文化、文化財への関心が高まった人の割合	—	80.0%
町の歴史や文化、文化財に関する展示会等の来場者数	505人	600人
埋蔵文化財の新規資料の展示数	—	20点